

西川産業(株)内 日本睡眠科学研究所	古川 雅嗣 様	
ウレタンフォーム工業会専務理事	大川 栄二 様	
(一財) ボーケン品質評価機構開発部課長	坂井 史治 様	
(一財) ボーケン品質評価機構東京営業所主任	丸山 智生 様	
(一社) 日本寝具寝装品協会専務理事	奥谷 孝良	中村 富夫

#### オブザーバー

西川産業(株)品質管理室	池田 努 様	
住友理工(株)健康介護事業室技術課課長	吉川 武明 様	田中 秀典 様
営業課	宇佐美早苗 様	山内 寛三 様
ニッタ(株)デバイス機能事業 G 営業 C 課長	橋場 正和 様	
センサー営業課	越智 信也 様	

## JBA 第 5 期業種別委員会：ウレタン・敷部会分科会 議事録

1. 開催日時 平成 30 年 5 月 18 日 (金) 午前 10 時 00 分 ～ 午後 0 時 30 分
2. 開催場所 (一社) 日本寝具寝装品協会  
東京都中央区小舟町 7 - 2 小舟町 243 ビル 7F ☎03 - 6661 - 0213
3. 議題 (1) 住友理工、ニッタ 2 社へ体圧測定試験の経過報告
  - (2) 住友理工製体圧測定器カラー調整操作マニュアルについて
  - (3) JBA ウレタン・敷性能表記ラベルの運用予定について
  - (4) 体圧測定器の業界会員先への普及策について

#### 議事録 議題 (1) 住友理工(株)午前 10 時～11 時

丸山委員：(資料あり) 開発経緯含め、ディスプレイ画面も使用し説明する。

宇佐美氏：測定圧力範囲の設定背景を聞きたい。もっと高圧帯や低圧は 10m g から測定も可能である。

奥谷専務：各社各様なデータ画像が市場使用され、各社ベースであるものを消費者目線で標準化することを目指したものである。

丸山委員：住友理工製、ニッタ式 2 社のデータ整合性の上でそういう数値設定した。

古川部会長：一般的な寝る姿勢での体圧分布データ取得と、その表現とした。

大川委員：伸長、体重は人それぞれなので、標準体で表現し参考にする。

#### 議題 (2)

吉川課長：技術ベースでの検討もあるので、カラー調整データ数値をもらいたい。

丸山委員：ニッタ(株)の数値も頂きカラー調整しているので、ニッタ(株)の理解を得られればお渡しいたします。

#### 議題 (3)

奥谷専務：6 月 21 日当協会総会で説明了解を得て、8 月には説明会実施し、来春商品から

市場展開を考えている。カラー色調整によるデータ操作は優良誤認にもなる事であり、その対策でもある。

大川委員：ウレタンフォームは輸入品増加傾向にあり、硬さ低下率（へたり）のバラツキ等が顕著になってきており、性能評価表記の標準化を図りたい。

吉川課長：測定器での寝具業界データ測定標準化は好ましいことである。

宇佐美氏：測定器の普及、使用の説明アシストはさせていただきます。

業界各社への測定器導入のスケール感が知りたい。

大川委員：体圧測定器データを製品添付ラベル表記するとなれば、ボーケン品質評価機構だけでは無理なので、ウレタンフォーム工業会会員にも購入を促していきたい。5台だといくらとか、台数の価格メリットあれば購入促進策になる。

宇佐美氏：現金価格とリース価格含め検討致します。試験機関であるボーケンがどの測定器を使用するのかがポイントになる。当社製は簡易的で耐久性が売り文句です。

坂井委員：ボーケン購入価格の提示はお願いしたい。

奥谷専務：購入価格提示は、リース価格も含めて、6月総会には無理としても、業界説明会にはハッキリしたいので当協会、ウレタンフォーム工業会にも頂きたい。

以上

#### 議事録 議題（1） ニッタ(株)午前11時～午後0時30分

古川部会長：本部会では消費者購入目安アンケート等実施し、体圧分散性表記の必要性に至り実施したものである。

丸山委員：(資料あり) 測定データ経過等をディスプレイ使用し説明する。

越智氏：住友理工製は初期設定（キャリブレーション）が都度できないので、センサー劣化するとデータのブレが生じる可能性がある。ニッタ式は常時キャリブレーションが出来ることを認識頂きたい。

丸山委員：体圧測定データは圧がどうかの表示である。日本人の標準体型（厚労省資料）でもデータ抽出して、被験者データとの比較参考にしていただく。

橋場課長：JBA体圧測定データ目安をだして消費者へのPRをしていくという事と思う。

奥谷専務：ニッタ式、住友理工製測定器の優劣を決めるのではなく、消費者目線での体圧測定表記方法の標準化を図るものである。

#### 議題（2）

丸山委員：2社のデータ表現を近づける為にカラー数値調整マニュアル整備もあり、住友理工(株)にニッタ(株)体圧測定器のカラー色毎数値開示の了承を得たい。

橋場課長 越智氏：了承します。

#### 議題（3）

越智氏：ふとん用ラベル等の市場展開予定はどうか。また、対象品目はウレタン・敷製品だけなのか。

奥谷専務：6月21日当協会総会で会員案内し、8月には業界説明会を実施、10月展示会にて公表し、2019年春ものから市場導入を図りたい。

スタート時は、ウレタンフォーム使用の ベッド用、フロー用のパッドや敷マットとしたい。JBA加盟会員には添付してもらえようにする。

また、まくら品質表示規程や掛けふとん類でも性能評価策を検討中で、消費者目線での表示表記ラベルも併せて発表していく。

議題（4）

越智氏：JBA会員規模がよくわからない。

奥谷専務：現在法人会員33社には製品に絡まない生地問屋7社も入っている。他に団体会員として日本羽毛製品協同組合105社、日本ふとん製造協同組合70社で構成しており、他に賛助会員として紡績商社等が加盟している。

大川委員：ウレタンフォームメーカー5社にはJBA会員になってもらおうと思っている。体圧測定器購入をお願いするとしても、全ての扱い品の試験データ取りは困難なので、自社ブランド製品は社内測定し、OEM製品、素材はボーケン等でのデータ取りとなろう。

越智氏：説明会等でデモ実施しながらの個別アプローチ策もある。

開発メーカーはハイグレードタイプとなるだろうし、そのあたりを見極めたい。

大川委員：ウレタンフォーム工業会5社向けのフルスペックでの見積りを出してほしい。

奥谷専務：購入先で価格バラバラでも困るので、価格目安は示しての説明会にはしたい。価格はリース含めて、再提出をお願いする。

以上